

首都圏における岩手木炭のPRと需要動向調査

1 はじめに

平成23年11月23日に、北いわて木炭産業振興協議会、日本一の炭の里づくり構想推進協議会、岩手支援株式会社の共催により、東京都板橋区において、岩手木炭のPR、需要動向調査を行ったので報告します。

2 イベントの内容

東京都板橋区の遊佐大山商店街で、木炭展示・説明、県産品の炭火による調理・試食、アンケート調査を行いました。木炭の説明、来場者への対応は製炭者が実施しました。

また、アンケート内容は、岩手木炭の認識、用途、購入先、購入の決め手、要望する説明としました。

3 アンケート結果

アンケートサンプル数は260人となり、今回の結果では、岩手木炭を認識しているのは25%と少なく、その用途はバーベキューより脱臭が多い状況となっております。

木炭(岩手産も含む)はホームセンターで購入され、その決め手は値段・性能となり、消費者は、木炭の着火、調理、消火などの使用方法の説明を望んでいることが明らかとなっております。

また、消費者は、放射能の安全性を購入の決め手とはしていないが、説明を望むという回答が比較的多い結果となりました。

4 今後の予定

今後は、関係者との情報共有を図り、販売プランの検討を行っていく予定です。

表 アンケート調査結果(概要)

項目	回答
性別構成	女 65%
年齢構成	61歳以上 42%、46~60歳 24%、31~45歳 23%
職業構成	主婦 36%、サラリーマン 26%、その他 20%
岩手木炭の認識	25%
木炭の用途	脱臭 44%、燃料 39%
木炭の購入先	ホームセンター 51%、燃料店 11%、アウトドア 9%
木炭購入の決め手	値段 33%、性能 28%、使用方法の説明 15%、放射能の安全性 3.3%
望む説明事項	使用方法 52%、エコの説明 20%、放射能の安全性 12%



写真 イベントの様子(奥は県産品(短角牛、焼鳥)の炭火焼試食、中は県産品販売(岩手支援株)、手前は木炭展示、アンケート調査)